

セキュリティ & プログラミングキャンプ 2008 実施規程

独立行政法人 情報処理推進機構
財団法人 日本情報処理開発協会

1. セキュリティ & プログラミングキャンプ 2008 は、全国各地から同じ目的を持つ 22 歳以下の方が参加します。団体生活のルールを守り、自分の行動には責任を持ち、楽しく有意義に過ごしましょう。
2. セキュリティ & プログラミングキャンプ 2008 実施期間中は、主催者の指示および注意に従って行動しましょう。
3. セキュリティ & プログラミングキャンプ 2008 実施期間中は、主催者が定める各コース別のセキュリティポリシー（別紙 1,2）を遵守して下さい。
4. セキュリティ & プログラミングキャンプ 2008 実施会場と自宅との往復については各人で十分に注意し、事故やその他のアクシデントに遭わないようにしましょう。
5. セキュリティ & プログラミングキャンプ 2008 実施期間中に参加者に発生した病気や怪我については、ただちに主催者に報告して下さい。その際、明らかに主催者側に非があった場合を除いて、治療にかかる費用は参加者側の自己負担となることをご了承下さい。
6. セキュリティ & プログラミングキャンプ 2008 実施期間中は未成年の参加が多く見込まれることから、成人の参加者の飲酒および指定場所以外での喫煙を禁止します。
7. セキュリティ & プログラミングキャンプ 2008 参加者は、実施期間中に習得した知識や技術のみならず、そこで得られた様々な人達との交流の輪を、今後の自分自身の生活や進路に生かしていけるよう努めましょう。

セキュリティ & プログラミングキャンプ 2008
セキュリティコース セキュリティポリシー

- (1) 原則として講義会場に以下のものを持ち込んだり、持ち出したりしないこと
- ・主催者が用意した PC 以外の PC
 - ・ PDA
 - ・携帯電話
 - ・ネットワークインターフェイス (LAN/無線 LAN カード、PHS カードなど)
 - ・ハードディスクなどのデータ記憶装置
 - ・デジタルカメラ、ビデオカメラなどの映像記録装置
 - ・IC レコーダー、テープレコーダーなどの音声記録装置
 - ・FD、CD、DVD などの記録媒体
 - ・メモリカード、フラッシュメモリ、メモリースティックなどの外部記憶媒体
 - ・USB デバイス (メモリ、ハードディスクなど)
 - ・ゲーム機
 - ・その他、講義に不要なものの持ち込み、会場に設置してあるものの持ち出しは一切禁止します。
- (2) 講義会場の中の施設構内ネットワークへの接続口は利用しないこと。
講義会場内では、主催者が用意し指定した端末以外で情報検索を行わないこと。
- (3) 施設内にある共用のインターネット利用端末は使わないこと。
- (4) 他の参加者などの個人情報を本人の承諾なしに他人に公開しないこと。
- (5) 宿泊用の各部屋には施設構内ネットワークへの接続口がありインターネットへの接続が可能です (ただし利用料金がかかります)。自分の PC を接続することを認めますが、以下の点を必ず守り、各自の責任において十分に注意して利用すること
- ・持ち込む PC には、必ずウイルス対策を施しておくこと。
 - ・キャンプでの実施内容を掲示板やブログなどに書かないこと。

- ・ キャンプに関連するデータを外部の人に公開したり、やりとりしたりしないこと。
- ・ ファイル交換ソフトウェア等、情報漏えい、著作権侵害等を発生させる可能性のあるすべてのソフトウェア類は起動しないこと。
- ・ 著作権侵害、不正アクセス等、違法となる行為は一切行わないこと。
- ・ その他、セキュリティ＆プログラミングキャンプ参加者として相応しくない行為は一切行わないこと。

注：宿泊室のネットワーク設備は、キャンプ独自のものではなくて宿泊施設となる OVTA が管理運営しているものです。したがって、宿泊者となる参加者およびスタッフは OVTA 側で提供されたサービスの範囲内で利用させていただくということになります。利用の仕方によって、万が一 OVTA 内のネットワークに悪い影響を与えた場合（損害を与えた場合）、また外部に悪い影響を与えた場合には当然利用者の責任となり、キャンプ参加者として相応しくない行為をしたということで退去を命じられることも考えられます。

宿泊室のネットワークの利用については、以上の点を十分に留意した上で各自の責任において正しく使用する、という前提で本年度はキャンプ参加者に利用を認めているということをよく心に留めておいてください。

- （６）自分達で判断できないことは、実行に移す前に主催者側に必ず確認すること。
- （７）その他、セキュリティ＆プログラミングキャンプ参加者として相応しくない行為は一切行わないこと。
- （８）プログラミングコースと合同の講義課目受講の際には、セキュリティコースのセキュリティポリシーに従うこと。

【注意】

以上の項目に違反した場合は、その場で受講を停止していただくことはもちろん、セキュリティ＆プログラミングキャンプ 2008 自体もその時点で中断いたします。場合によっては、来年度以降の実施が出来なくなることもあります。

セキュリティ＆プログラミングキャンプ 2008 は、セキュリティやプログラミングに関する正しい知識を、正しく使うことを学ぶ場です。全国から選ばれて、この場にいるということを常に念頭におき、良識を持った行動を心がけてください。

セキュリティ & プログラミングキャンプ 2008
プログラミングコース セキュリティポリシー

- (1) 原則として講義に不要なものの持ち込み、会場に設置してあるものの持ち出しは一切禁止します。
- (2) 講義会場の中の施設構内ネットワークへの接続口は許可なく利用しないこと。
講義会場内では、原則として主催者が用意し指定した端末以外で情報検索を行わないこと。
- (3) 施設内にある共用のインターネット利用端末は使わないこと。
- (4) 他の参加者などの個人情報を本人の承諾なしに他人に公開しないこと。
- (5) 宿泊用の各部屋には施設構内ネットワークへの接続口がありインターネットへの接続が可能です(ただし利用料金がかかります)。自分の PC を接続することを認めますが、以下の点を必ず守り、各自の責任において十分に注意して利用すること
 - ・ 持ち込む PC には、必ずウイルス対策を施しておくこと。
 - ・ ファイル交換ソフトウェア等、情報漏えい、著作権侵害等を発生させる可能性のあるすべてのソフトウェア類は起動しないこと。
 - ・ 著作権侵害、不正アクセス等、違法となる行為は一切行わないこと。
 - ・ その他、セキュリティ & プログラミングキャンプ参加者として相応しくない行為は一切行わないこと。

注: 宿泊室のネットワーク設備は、キャンプ独自のものではなくて宿泊施設となる OVTA が管理運営しているものです。したがって、宿泊者となる参加者およびスタッフは OVTA 側で提供されたサービスの範囲内で利用させていただくということになります。利用の仕方によって、万が一 OVTA 内のネットワークに悪い影響を与えた場合(損害を与えた場合)、また外部に悪い影響を与えた場合には当然利用者の責任となり、キャンプ参加者として相応しくない行為をしたということで退去を命じられることも考えられます。

宿泊室のネットワークの利用については、以上の点を十分に留意した上で各自の責任において正しく使用する、という前提で本年度はキャンプ参加者に利用を認めているということをよく心に留めておいてください。

(6) 自分達で判断できないことは、実行に移す前に主催者側に必ず確認すること。

(7) その他、セキュリティ＆プログラミングキャンプ参加者として相応しくない行為は一切行わないこと。

(8) セキュリティコースと合同の講義課目受講の際には、セキュリティコースのセキュリティポリシーに従うこと。

【注意】

以上の項目に違反した場合は、その場で受講を停止していただくことはもちろん、セキュリティ＆プログラミングキャンプ 2008 自体もその時点で中断いたします。場合によっては、来年度以降の実施が出来なくなることもあります。

セキュリティ＆プログラミングキャンプ 2008 は、セキュリティやプログラミングに関する正しい知識を、正しく使うことを学ぶ場です。全国から選ばれて、この場にいるということを常に念頭におき、良識を持った行動を心がけてください。